ワー、ピッカピカ！双葉保育園が完成

昨年九月から木津分館地内に改築工事を進めてきた、双葉保育園が三月二十日竣工しました。

新装なった双葉保育園は、総床面積七七八平方メートルで、園児の定員も八十八人から百十人に増え、中央保育園に次ぐ規模になりました。

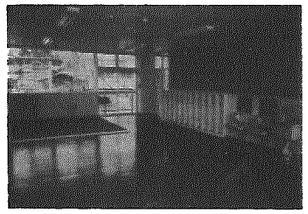
この建物の特徴は、表面入口がアーチ式になっており、玄関を入ると広々とした吹きぬけの天井で明るく、階段はラセン状、遊戯室は床下暖房と、モダンな感じのする保育園になりました。

ピッカピカの保育園は、四月八日に竣工式を行ない、十日の入園式から使われることになります。

なお、この双葉保育園の改築工事費は、一億四千三百四十万円を要し、一億四千三百四十万円を要し、建設資金には国・県補助金及び年金積立金還元融資を受けたものです。

表面入口のモダンなアーチ式玄関

▲　明るい吹きぬけの玄関とラセン状の階段



▲ほふく室（三才未満児）の室

春の狂犬病予防注射のおしらせ

愛犬を飼っている皆さん、春の狂犬病予防注射がおこなわれますので次のものを持参し、必ず受けてください。

⊙手数料　三千三百円
⊙印かん
⊙愛犬手帳

月日	会場	時間
4月24日（金）	沢海分館	9:30～10:00
	木津〃	10:30～11:30
	小杉〃	13:00～14:00
	旧横越小学校	14:30～15:30

◎注意　登録注射をしないものは3万円以下の罰金、放し飼いは1万円以下の罰金又は科料に処せられます。また、抑留した犬の返還手数料は3千円徴収します。

今月の納期

固定資産税　第1期
納期　4月末日まで
軽自動車税　全期
納期　4月末日まで
国民年金　第1期
納期　4月27日まで

横越だより

春になりました。

横越の春は阿賀野川からくるのでしょうか。うららかな堤防に立つと蕪村の春風馬堤曲の中にある「春風や堤長うして家遠し」の句をいつも想い出します。堤防にふきのとうを、つくしを摘む人の姿が見え始めると横越の春が始まります。長堤十里、春風駘蕩（たいとう）たる春がやってきました。

三月は別れの月、涙の月と言われます。卒業式、入学テストなど感激の多い月です。四月は喜びの月、希望の月でしょう。新しいランドセルを背に目を輝かしながら入学式に臨む小学一年生、大きい制服に身をつつんで、新しい中学生活に期待で胸をふくらませる中学生、高校生も同じでしょう。又、自分の将来をかけての新しい職場に活躍を期している新しい社会人一年生。四月は希望と期待に若いエネルギーに満ちた月といえるでしょう。

「春風の中に坐するが如し」慈愛あふれる良師の感化に接するをいうと中国の詩の一節にありました。慈愛深い先生に感化されている境地をたとえたものでしょう。この希望に満ちた子どもたちの期待を裏切らないように、私たちも決意を新たにする月でもあると思います。

今、学校では、小・中学校揃って、新しい教育課程が全面実施されています。「人間性豊かな児童、生徒の育成を目ざして先生方が懸命の努力をしています。子どもたちが心身ともに安定した状態で意欲的に学習活動に取り組み、基礎的なこと、基本的なことを確実に身につけさせよう。喜びと充実感を味わうことのできる学校生活を実現させていこうというのです。そのために教育は内容も精選されました。子どもたちのクラブ活動の時間を増して、それぞれの個性をのばすための指導も強化されました。

学校も今、春爛漫の中で大きな希望を目ざして活動を続けているのです。然し何よりも大切なのは、それらの活動の根底に、子どもたちと先生方のお互いの信頼が確立していることでしょう。春風の中に坐するが如く、子どもたちが慈愛あふれる情熱をもって指導される良師の薫育の中で安定して勉強できるようになりたいものです。然し「堤長うして家遠し」長い努力が必要でしょう。先生方も子どもたちにも、たゆまない努力を期待するものです。

（田中）

横越村が人権モデル地区に

4月17日推進協議会発足へ

「人権尊重村」を宣言

横越村が、人権モデル地区として法務省から指定されました。

この人権モデル地区の指定は、法務省が昭和五十三年から人権に関する意識の高揚を図ることを目的として、一県二ヵ所をモデルに指定し、「人権」ということについて、認識を深め、明るく住みよい村づくりに貢献しようというものです。

昭和五十六年度は、このモデル地区に横越村と分水町が指定されました。今後モデルとなったところでは、各種団体等からなる推進協議会を組織し、「人権尊重村」の宣言アンケート調査、標語募集、講演会、相談所開設等々の事業活動を積極的に進め地域全体に人権に対する啓発を図ることとしています。

わたしたちは、だれもが幸福で生きがいのある生活をしたいと願っていますが、そのために欠かすことのできないのが「人権」です。しかし、近年における産業経済の発展は、物質文明の飛躍的な向上をもたらした反面、公害問題社会意識の稀薄、道徳心の欠如及び法秩序の軽視等を生み出し、個人の生存権、生活権をおびやかしています。

今日「人権」は、改めて問われる時期でもあり、社会でもあると思われます。そういう意味では、この人権モデル地区指定は意義あるものに発展させたいものです。

どこからもとび出す子どもは赤信号

春の全国交通安全運動 4/6～4/15

毎年、日本全国で八万人以上の子ども（幼児・小学生）たちが交通事故に遭って死傷しています。

この春の全国交通安全運動を契機に、ドライバーをはじめ、家庭や地域のみなさんが協力し合って子どもの交通事故を防止しましょう。

◎とび出すぞ！子どもは急に止まれない

◎スピードひかえて安全運転

まず第一に、ドライバーのみなさんが、無謀な運転をやめ、いつも安全速度を守り、心に「ゆとり」を持ってハンドルを握ることが大切です。住宅地や学校周辺の道路では子どものとび出しによる事故が多いので、スピードばいつでも止まられるような速度と心がけが必要です。

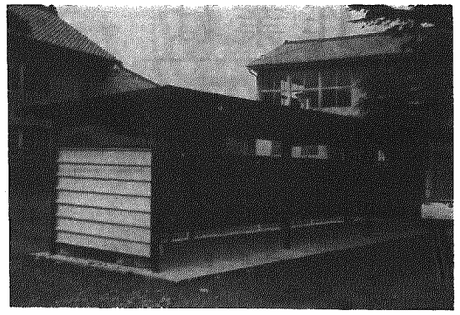
◎安全は家庭の中からしつけから

子どもの歩行事故や自転車事故の多くは「とびだし」や「車の直前直後の横断」など、子どもの側にも過失があり、しかも自宅のすぐそばで発生しています。

日頃から、家庭で子どもの交通安全に十分な気を配り、子どもに対する交通安全の指導や、しつけをしっかりしておくことが大切です。特に幼児には、しつけをするだけでなく、保護や監視もおこたらないようにしましょう。

ごぞんじですか？自転車の置き場所

早くご利用を



ほとんど利用のない自転車置場

村では昨年の八月に通勤や通学で自転車を利用している人達に対し、道路での放置や、盗難を防ぐために旧横越小学校跡地に自転車小屋を新設しましたが、その利用がほとんどありません。その反面、バス停附近の道路、あき地に依然として自転車の放置があとをたたず、地先関係者や通行人に大変迷惑をかけています。

特に横越中の国道49号線ガード下では自動車も通れないような状態で自転車やバイクが放置されています。

小学校跡地に新設された自転車小屋は横越バス停から約五十メートル位の近い距離にありますのでこちらを利用してください。

国道49号線ガード下に放置されているバイクや自転車